

(第3種郵便物認可)

三笠の北海道中央霊園

「テラス墓地と販売好評

一定の高さで「お参りしやすい」年内に72区画提供を計画

【三笠】公益財団法人北海道中央霊園(本部・岩見沢)が今春、三笠市大里の同霊園内に開園した「テラス墓地」の販売が好調だ。第1期造成分(12区画)はすでに完売し、現在は第2期、第3期造成分を販売している。年内に第6期まで造成し、計72区画を提供する計画だ。

【末永直樹】

テラス墓とは、高い床面の上にコンパクトな墓石が並んで建立されている墓で、地面から一定の高さがあるためお参りしやすく、首都圏などで人気がある。

また、テラス墓地利用者には、ペット合同墓の納骨料が無料になる特典も用意している。

同霊園の武田寛理事長は「少子化、核家族化の進行で1世帯当たりの人数が減少する中、墓の需要もコンパクト化、低価格化を求める傾向がある。昨年からは墓地の有期限使用が可能となり、継承者の心配が軽減され、



テラス墓地の前で利用を呼びかける武田理事長

首都圏のテラス墓地は床面を土で盛る場合が多いが、同霊園では床面の冬期間凍結を考慮し、北海道向けに全面みかげ石張りとした点が特徴だ。

同霊園のテラス墓地は幅1・2メートル、奥行き1・7メートルで、墓参専用スペースを含め敷地面積2平方メートル、敷地面積を従来の規格墓地の半分程度に抑えた。価格は、墓石代、工費、

テラス墓地に先立ち、一昨年6月に開園した永代供養付き合祀墓地「結の苑(ゆいのその)」はすでに750件を超す埋葬と生前予約の申し込みがあり、札幌を中心とした全道から申し込みが来ているという。

詳細は北海道中央霊園公式ホームページ(<http://chuo-reien.com/>)、問い合わせは同霊園管理事務所(TEL01267・3・1511)へ。